



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆6月の目標

- ☆学習のまどめをしよう
- ☆みんなとなかよくしよう
- ☆笑顔であいさつしよう

☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り

☆今後の行事計画

- ・6月24日 1学期終業日
- ・8月 5日 2学期始業日
- ・9月23日 運動会



☆二ニュース「おもしろい石」

二年三組 倉本 あや音

土よう日、ようちぶのすなほで、いろいろな石を見つけました。どんな石かというとキラキラな石三つ、ひらたい石一つ、オレンジ色っぽい石一つ、ぶつうの石五つです。見つけるまえには、男の子二人が大きい石をたから物にしてうめしました。男の子たちがいなくなってから、みんなでいっせいにほりました。さいごに、すなと石をもとにもどすのがちょっとたいへんでした。

☆二ニュース「学校のうさぎ」

二年三組 七川 ゆい

わたしのニュースは、日本語学校のきょうしつのまどから、うさぎとにわとりがみえます。アメリカじんがおせわをしています。きょうしつのみんなとわたしがみえています。うさぎとにわとりがかわいいです。うさぎは、にげあしがはやそうです。にわとりは、いっぺいいます。うさぎは、いっぺいしかいませんのでかわいそうです。



☆二ニュース「わたしのたん生日」

二年三組 弓立 るな

わたしは、五月五日がたん生日です。フレンチは、うでどけいとくつをもらいました。とてもうれしかったです。また、つぎのたん生日がきてほしいです。



☆二ニュース「えいがを見に行った」

二年三組 大にし 麗空

ぼくは、土ようびにほしゅうこうがおわったあと、えいがを見に行きました。そのえいがのなまえは、「きみの名は」です。おとうさんとおかあさんと、おにいちゃんとおほくの四人でいきました。日本ごだったのわかりやすかったです。「ぼんおもしろかったのは、男と女がいれかわるところです。また、見にいきたいです。」

☆二年一組 「さんかん日」

野村 あゆ生

きょうは、じゅぎょうさんかん日でした。ふきのとうの音読をしたり、さんすうのひっさんをやったり、ともこさんをさがせをやりました。こくごは、ともこさんをさがせがいちばんたのしかったです。どうしてかという、ほくは、さがすゲームがすきだからです。さんすうのじかんのひきさんのひっさんは、おぼろしかったです。ほくは、おとうさんとおかあさんがきたとき、ちょっとぼろしかったです。

☆二年一組 「さんかん日」

小柳 かいと

きょうは、さんかん日でした。あさからドキドキしていました。たくさんのおとうさんおかあさんがきていたので、ほくは、おとうさんです。音読は、大きな声で読みました。算数は、ほくは、手をあげられなかったけど、もんだいのできてよかったです。おかあさんに「がんばったね」と、ほめられてうれしかったです。

☆二年一組 「さんかん日」

緒方 凱志

ふきのとうをおかあさんの前でじょうずに読めて、うれしかったです。おとうさんのまえで、ひっさんをまちはえすとけてよかったです。

☆二年一組 「さんかん日」

田川 ありさ

きょうは、さんかんびでした。おとうさんがきました。「ふきのとう」の音読をしました。

おとうさんは、  
「とてもじゃうずによめたね。  
えうかったね。」  
と、いいました。



☆三年二組

ほくのお父さん 後藤 はやと

ほくのお父さんのたんじょう日は、九月七日です。男だけとおとめざです。好きなたべものは、ラーメンです。いつも「ラーメン食べたい」と言っています。だけど、アメリカではあまり食べません。にがてな物は、なっとうです。ほくもきらいです。お父さんは、よくいっしょにあそんでくれます。今、ほくが好きなあそびは、ジェンガなので、お父さんもジェンガをいっしょにしてくれます。ほくたちのために、はたらいてくれてありがとうと言いたいです。

☆三年二組

やさしいお母さん 小針 みのん

ママのすきな色は、海の色です。とくいりょうりは、ぎょうざだとおもいます。いつもやさしいから、にこにこしています。おかあさんはりょうりがじょうずです。いつもおいしいです。おいしいりょうりをいつも作ってほしいです。

☆六年二組

「時計の時間と心の時間」

佐野 泰隆

ぼくは、「時計の時間と心の時間」を読んで、少し共感したところと納得できなかったところがありました。

まず、共感したところは、「心の時間」の事例の中の一つで、その人の行動に対して自分がどう感じているのかによって、「心の時間」の進み方が変わるといって考えです。ぼくは、英語の本を読むのが好きで、読み始めるとすぐ時間が早く進んでいるように感じます。そして、待っているときは、時間が長く感じます。しかし、ぼくは、「心の時間」のちがう事例、一日の時間帯によって進み方が変わる、という考えは納得できませんでした。ぼくは、ただそのとき、やっていることだけ時間の進み方が変わるものだと思います。朝、昼、夜にぼくは同じことをやれば、いつでも同じ長さを感じます。時計の時間と心の時間」には、ぼくが、共感した考え方と納得できなかった考え方が書いてありました。ぼくは、自分自身の行動が「心の時間」の進み方を変えることには賛成しました。しかし、一日の時間帯はそのとき同じものをやっているとすれば、「心の時間」の進み方はかわらないと思います。



☆六年一組 短歌

☆祖母の手は 土をさわって真っ黒で 家の庭には 花は満開  
澤本 和泰

☆外遊び 暑さに負けぬ 立夏の日 汗かき後の アイスがしみる  
吉村 泉希

☆夏休み 学校終わって一安心 けれどもやっぱり 夏の宿題  
グリグーティス晶子

☆太陽が 海にしずんで 夜になり すすきがゆれる 満月に夜  
辻本 凜香



☆三年二組

わたしのお父さん 村林 璃子

わたしのお父さんは、せがとて高いです。お父さんにかた車をしてもらうと、天じょうにわたしの手がときます。また、高いところにあるものが、すぐとることができるので、家族はとてもちがいます。お父さんのいやなところがあります。それは、たばこをたくさんすうことです。いつもベランダですっています。わたしは、お父さんに、たばこのにおいがきらいなので、やめてほしいと言っています。お父さんはずっとすっています。おとうさんは、わたしにはぐをするのがすきです。わたしもです。お父さんは、げんきにはたらいています。

